

令和4年度臨床検査医学研究振興基金

A. 研究奨励金受賞者

1. 今泉 直樹：琉球大学医学部 保健学科 生理機能検査学准教授
2. 蓮沼 秀和：東邦大学医療センター佐倉病院 輸血部主任臨床検査技師
3. 三浦 大輔：福岡徳洲会病院 臨床検査科主任
4. 三木田 馨：慶應義塾大学医学部 感染症学教室専任講師
5. 村山 迪史：北海道大学大学院保健科学院 助教授
6. 山下 計太：浜松医科大学医学部附属病院 検査部副部長
7. 和知野 純一：修文大学 医療科学部 臨床検査学科准教授

(五十音順)

B. 小酒井望賞

田部 陽子：順天堂大学医学部 臨床検査医学教授

C. 藤田光一郎賞

中原一彦：東京大学名誉教授

令和 4 年度授与式挨拶（受賞者と選考過程の報告）

公益信託 臨床検査医学研究振興基金 運営委員会委員長 高木 康

はじめに

今年度も新型コロナウイルスの全世界的なパンデミック、特に我が国では 2021 年 12 月からオミクロン株による急激な感染拡大により、昨年 12 月から第 8 波が到来し、種々の会合・記念式典が中止になっており、本「公益信託 臨床検査研究振興基金」も毎年開催している授賞式、記念講演を今年度も中止することにいたしました。

このため、本「臨床検査医学研究振興基金」、「研究奨励賞」、「小酒井望賞」、「藤田光一郎賞」と本年度の選考課程について記載します。

1. 「公益信託 臨床検査医学研究振興基金」

「公益信託 臨床検査医学研究振興基金」は、今年度で設立 35 年を迎えることになりました。ここまで当基金が存続・発展することが出来たのも、関係の皆様方のご支援・ご協力の賜物であり、運営委員長として、心から御礼を申し上げます。とりわけ、富士レビオ株式会社、ならびに株式会社エスアールエルには、一貫して多額の基金と寄付金のご支援をいただき、深く感謝申し上げます。また、受託者として、基金の管理運営をしていただいています、みずほ信託銀行株式会社にも厚く御礼を申し上げます。

当基金は、臨床検査医学・臨床病理学分野における学術振興と人材育成への貢献を目的として、昭和 56（1981）年に設立された『臨床病理学研究振興会』が母体となっています。その後、昭和 63（1988）年 12 月に『公益信託 臨床病理学研究振興基金』として厚生省（現 厚生労働省）より認可され、それから数えて今年で 35 年目を迎えることとなります。平成 15（2003）年からは、名称を、『公益信託 臨床検査医学研究振興基金』に変更して現在に至っています。

当基金の設立の趣旨は、臨床病理学・臨床検査医学の分野において、学術的貢献の期待が大きいと認められる若手研究者に「研究奨励金」を贈り、研究を遂行することで臨床検査に関係する優れた研究者を育成しようとするものです。発足当時は、臨床病理学領域の科学研究費などの分配は少なく、若手研究者の研究費も乏しかったので、これを助成して研究者を育成することが主な目的でありました。現在でも発足当初からのこの目的を継承しています。

現在、当基金は、正味信託財産約 2 億 6 千万円を有していますが、混沌とする世界の経済情勢の中で、相変わらずの超低金利時代で十分な利息が得られず、年々基金を取り崩しながら苦しい運営を強いられています。このため、運営費用をできるだけ切り詰め、また毎年、富士レビオ株式会社ならびに株式会社エスアールエルから多額の寄付金を積み増していただきながら、研究助成事業と顕彰事業は例年の予算額を維持するように努力してきています。その結果、昭和 56（1981）年から今日までの研究奨励金の授与は、334 件、総額 2 億 4410 万円に達しています。

研究奨励事業に加えまして、平成 2（1990）年度には「小酒井 望賞」を、平成 15（2003）年度には「藤田 光一郎賞」を顕彰事業として創設・開始いたしました。

「小酒井 望賞」は、順天堂大学医学部臨床検査医学講座（当時は臨床病理学講座）の初代教授で、我が国の臨床病理学・臨床検査医学の発展のために大きな足跡を残された、小酒井 望先生のご遺徳を偲ぶために設けられた賞であります。小酒井先生は、また当基金の初代の信託管理人として、当基金の設立に

も大きな貢献をされました。「小酒井 望賞」は、研究奨励金を受賞された研究者のなかから、その後も引き続き優秀な業績を積み上げられ、臨床検査医学分野に多大な貢献をされている研究者に対して、毎年1名に授与されるものです。今年度までに33名の方々に顕彰させていただきました。

次に、「藤田光一郎賞」は、藤田光一郎先生のご功績をたたえて設立した顕彰事業であります。藤田先生は、一時期、診療にも従事された医師で、当基金の出資元の富士レビオ株式会社、ならびに株式会社エスアールエルの代表取締役社長を長年務められ、両社の創設・発展に大きく貢献され、かつ、臨床検査医学に深い理解をもって、当基金の設立を強力に支援していただいた先生です。「藤田光一郎賞」は臨床検査医学領域において、さらには臨床検査室の管理運営等においても顕著な功績をあげられたのち、定年退職された臨床検査の専門家を、毎年1名顕彰するものです。現在までに19名の専門家を顕彰させていただいています。

2. 令和4年度受賞者選考課程

「研究奨励金」については、今年度は全国から42件の応募がありました。その中から、運営委員による第一次審査に合格した18件につきまして、国際医療福祉大学ベ谷直人教授を選考委員長とする12名の選考委員からなる選考委員会に、公平かつ厳正な審査をお願いしました。選考委員全員による無記名投票によって投票数の多い順に10名の代表研究者が選定され、運営委員会に答申されました。運営委員会では、選考委員会の答申内容を最大限に尊重し、さらに予算等を考慮して、最終的に7名の方に奨励金を授与させていただくこととし、研究奨励金総額500万円を研究内容により助成金額を決定しました。

最近の傾向として、臨床検査関連の医師に加えて、臨床検査技師の方々の活躍が目立つようになってきたことを実感しております。今回の選考でも、受賞者7名のうち3名が、臨床検査技師でした。今後も、引き続き、多くの方が活躍されることを期待しております。

続きまして「小酒井 望賞」です。選考にあたりましては、研究奨励金受賞者で昭和56(1981)年～平成28(2016)年に「研究奨励金」を受賞し、かつ研究成果報告書を本基金に提出した有資格者239名を対象に、運営委員の無記名投票により選出されました上位2名について、最近の研究業績を検索するとともに、研究奨励金受賞後も一貫して臨床検査医学の分野で貢献されていることも考慮に入れて最終選考いたしました。業績の中から代表的な論文10編ずつを運営委員が慎重に審査し、無記名投票により今年度は、順天堂大学医学部臨床検査医学教授である、田部陽子先生に授与させていただくことになりました。

田部先生は、平成4(1992)年に山梨医科大学を卒業後、順天堂大学医学部臨床病理科の臨床研修医、専攻医として、臨床病理の研鑽を積まれました。そして、平成7(1996)年度「急性白血病の細胞特性の検査の研究」で「研究奨励金」を受賞されました。平成13(2001)年から15(2003)年にはテキサス大学MDアンダーソン癌センターに、平成18(2006)年から平成20(2008)年には米国癌研究所(NCI)に留学されて新技術を修得され、造血器腫瘍の分子標的マーカーの探索へと発展されました。また、AI血液形態検査システムの開発を行うなど血液検査学のトップリーダーとして活躍中です。令和2(2020)年に順天堂大学医学部臨床検査医学講座の教授に就任されました。現在では数少ないたたき上げの臨床検査医であり、日本臨床検査医学会の副理事長に就任して、後輩の指導にも卓越したリーダーシップを発揮されています。これらの業績・功績に対して賞状、小酒井望先生のレリーフを飾った楯、副賞50万円を差し上げることとします。

次に「藤田 光一郎賞」です。平成 18 (2006) 年度からは候補者を公募して、運営委員会で慎重に審査して本賞の趣旨に合致する受賞者を決定して参りました。その結果、今年度は、東京大学名誉教授（前医学部臨床検査医学講座教授）の中原一彦先生に、「藤田 光一郎賞」を授与させていただくことにしました。

中原先生は、昭和 47 (1972) 年に東京大学医学部をご卒業後、内科に入局され、主に血液分野で研鑽を積まれた後、平成 3 (1991) 年に杏林大学医学部臨床検査医学講座教授、平成 7 (1995) 年に東京大学医学部臨床検査医学講座教授に就任されました。中原先生は血液検査がご専門で、日本検査血液学会理事長、日本臨床検査医学会副理事長を歴任され、血液検査分野における研究・教育に尽力されました。また、臨床検査医学講座を主宰されるとともに、附属病院の臨床検査部門の統括・運営に手腕を発揮されました。中央診療部門の重要性を学内外に広く啓蒙され、総合的な検体検査システムの導入など、臨床検査室の発展にも貢献されました。以上のような「臨床検査室の管理・運営への多大な功績-特に先進的総合検体検査システムの構築-」を評価して、藤田光一郎賞を授与させていただくこととしました。中原先生には、表彰状、藤田光一郎先生のレリーフを飾った楯、副賞 50 万円を授与させていただきます。

おわりに

今年度も「公益信託 臨床検査医学研究振興基金」の事業を滞りなく終了することができました。来年度は新型コロナも終息して、受賞者とともに臨床検査医学の将来を語り、さらなる精進をお願いする機会があることを祈念しています。

改めまして、本日受賞されました皆様方にお祝いを申し上げますとともに、今後、本事業がより一層発展し、多くの優秀な研究者の育成と、臨床検査医学の発展に貢献できるよう、私ども世話人一同、さらに努力を重ねてまいります。今後とも関係各位のご支援とご協力をお願いして、運営委員長の挨拶とさせていただきます。